

第1号議案 平成25年度事業報告

敬称略

◎ コミ協事業報告 (事務局長 池田 葵)	
区分	会議・活動等項目
①会議	<p>三役会議</p> <p>4/16 : 民生委員推薦準備委員、4/20 : 防災部会創設の意義 5/02 : 総会議案、会計監査、5/16 : 総会資料 5/24 : 真小区自主防災対談件、6/01 : 防災部会創設対応 6/05 : 真小区自主防災対談件、7/23 : コミ協研修会案件 8/23 : 真砂小学校幹部対談件、9/24 : コミ協研修会件 10/25 : 佐野会長入院の件、11/13 : 防災部会三役対談 12/21 : 自治会長会・新年会件、1/30 : 自治会長会件 2/19 : 後任会長選定必要性件、3/03 : 佐野会長辞任届対応</p> <p>役員会議</p> <p>5/10 : 会則改正、役員改選件、6/22 : 会長年度方針 8/09 : 助成金件、各部会報告、12/04 : 上期経過報告</p> <p>自治会長会議</p> <p>4/08 : 会則改訂、改選役員推薦 2/06 : 地域活動補助金改訂件</p> <p>その他</p> <p>6/08 : 平成25年度「総会」、6/22 : 区政懇談会 9/28 : コミ協研修会&懇談会、</p>
②区関連 その他事項 (概略事項)	<p>研修・講習会、その他事項</p> <p>5/01 : 平成25年度分各部会地域活動補助金申請 6/14 : コミ協代表者変更届、振込銀行先変更届 6/22 : 区政懇談会、泉区長以下6課長、3研修生 参加 7/31 : 山本課長にコミ協研修会の講話依頼 9/28 : コミ協研修会&懇親会、山本振興係長講演 11/20 : 総務課安心安全係訪問防災部会創設報告、中村部会長紹介 12/11 : 西区地区コミ協「柏崎災害復旧&体験談聴聞」視察参加 大谷副会長、池田事務局長参加 1/17 : 市主催「新潟地震50周年事業“共助”を考える市民の集い」大谷副会長、池田事務局長出席 1/25 : 「地域包括ケアシステムの構築を目指して…」(厚生労働省老健局振興課長浅川知昭) 講演出席 大谷副会長、池田事務局長 2/01 : 消費税UPによる次年度家賃更新依頼要請あり 3/29 : にいがた未来C a f e「新潟の未来を語り合う会」池田事務局長出席</p>

◎ 福祉部会 (部会長 大谷 勇)	
実施日付	会 議 ・ 活 動 等 項 目
8 / 2 2 (土) 13 ; 30 ~ 16 ; 20	<p>世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」開催：場所 真砂会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手玉、あやとり、おはじき、メンコ、折紙、将棋、碁石並べなどのゲームや専門家を招いてゴム風船を使って動物など色々な形作りに挑戦した。 参加者：88名（高齢者 36名、こども 52名） ・事業準備等の実施日 <ul style="list-style-type: none"> 6 / 0 8 : 総会で事業及び予算の承認 6 / 1 1 : 部会で事業詳細および案内状の検討 6 / 2 8 : 開催案内回覧各自治会に依頼 8 / 0 7 : 参加状況と当日の役割分担検討 8 / 2 2 : 世帯交流の集い「こどもたちと遊び隊」開催、反省会実施 8 / 2 9 : 業務報告書地域振興係へ提出 ・事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> 反省会ではゲーム及びゴム風船を使ったもの作りとも好評だった。 古き良き時代のゲームやもの作りを通して子供たちとの触れ合い、高齢者の生甲斐作りは概ね達成した。課題は特になし。
9 / 1 4 (土) 13 ; 00 ~ 17 ; 00	<p>真砂うきうき元気塾「うきうき元気に生きましょう」開催 参加 100 名 於 坂井輪コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進のための講話や落語及びハワイアンフラを鑑賞し体力気力の増進に努めた。 保健士による血圧測定 ・事業準備等の実施日 <ul style="list-style-type: none"> 6 / 0 8 : 総会で事業及び予算の承認 6 / 1 1 : 部会で事業詳細および案内文の検討 7 / 2 6 : 開催案内回覧各自治会に依頼 9 / 0 3 : 参加状況と当日の役割分担検討 9 / 1 4 : 真砂うきうき元気塾「うきうき元気に生きましょう」開催、反省会実施 9 / 2 0 : 業務報告書地域振興係へ提出 ・事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> 本業務は心の健康に着目したもので高齢者が健全な気力を保ち若々しく老いる事を願って計画したもので参加者の反応は好評であり所期の目的は達成された。課題は特になし。

◎ 青少年健全育成部会 (部会長 本田 明治)

実施日付	会議・活動等項目
<p>事業名 事業実施内容</p> <p>7/20(土) 09:30~11:30</p> <p>11/30(土) 09:30~11:30</p>	<p>まさご体験教室</p> <p>真砂小学校を中心に、児童、保護者、教職員、未就学児、卒業生や地元地域の方々等の交流を図るため、真砂小学校ふれあいスクール事業(まさごわくわくスクール)の行事として「たこあげ大会」、「コマ回し・はねつき大会」を実施した</p> <p>・「たこあげ大会」於真砂小学校 図工室・視聴覚室・体育館 内容：たこ作り及びたこあげ体験 参加者数：約154名(子供120名、保護者、幼児、地域住民34名)</p> <p>・「コマ回し。はねつき大会」於真砂小学校 体育館 内容：こま・羽子板を色分けして遊ぶ。トーナメント大会も実施 参加人数：131名(真小児童90名、保護者、幼児、地域住民等41名)</p> <p>・事業準備など実施日 それぞれの事業前後に必要な応じ、準備、反省会を行い、平成25年11月30日に実施報告書の提出を持って事業の完了とする。</p> <p>・事業による成果 たこあげ、コマ回しは昨年度も実施した内容であったが、昨年度に続いての連続参加児童も多く予想以上に盛況であった。 はねつき大会は当初計画にはなかったが、予算増もあり実施した結果、女子児童の参加が増えた。男子児童にも大変人気であった。 子供たちは地域の方々に教わりながら初めは見よう見まねだったがあつという間にコツをつかんで遊んでいた。昔の遊びは大人も子供も一緒にできるものが多く、今後も継続する事によって保護者、教職員、地域の方々の交流が広がっていくことが期待される。</p> <p>・今後の課題：何れの行事も予想を上回る参加者数で、遊具の数は十分用意していたが、文房具類の不足、教える大人の要員不足等でしばしば終始のつかない状況もあった。 準備段階で多くの遊具類保管場所の確保が困難であった。 ゴミが出る事は織り込み済みであったが予想以上にゴミが多く出た。</p>
<p>事業名</p> <p>10/27(日) 13:00~14:30</p>	<p>ふれあい広場「プレイゾーン」於 真砂小学校体育館</p> <p>・事業実施内容：小学校を中心に、児童、保護者、教職員、未就学児、卒業生や地元地域の方々などの交流のため、真砂小学校文化祭・PTAふれあい広場に参加し、昔～今のさまざまな遊びの場。 参加人数：真砂小学校児童、教職員、保護者、地域住民等300人</p> <p>・事業準備など実施日 6/19：青少年健全育成部会第1回会合で原案を審議承認(次頁へ)</p>

実施日付	会議・活動等項目
(前頁より)	<p>9月上旬～：遊具の選定開始。</p> <p>9/25：部会第2回会合で、遊具選定、当日日程、レイアウト確認。</p> <p>10月中旬：真砂小パンフレット配布、ポスター、チラシ作製</p> <p>10/27：「プレイゾーン」実施</p> <p>11/25：実績報告書作成</p> <p>11/30：実績報告書提出</p> <p>・事業による成果及び今後の課題</p> <p>ベーゴマ、はねつき、お手玉、おはじきなど昔の遊びを多く取り入れたことによって多くの世代交流がみられた。予算増によってブーメラン・万華鏡作成などちょっとした工作で出来る遊具を用意する事が出来た。子供たちがあつという間に昔の遊びに馴染んでいた。昔の遊びは大人も子供も一緒に出来るものが多く、今後も継続する事によって保護者、教職員、地域の方々の交流が広がって行く事が期待される。</p> <p>・今後の課題</p> <p>遊具類を多く用意したため、遊びのコーナーも多く、また参加者も予想を上回った為しばしば終始のつかない状況に陥ることもあった。準備段階で多くの遊具類保管場所の確保が困難であった。</p> <p>ブーメラン・万華鏡は人気で、かなり早い時間に品切れとなってしまった。</p>

◎ 文化部会 (部会長 白島 達彦)	
実施項目	会議・活動等項目
事業名1	<p>1、写真教室：参加者が写真をもっと主体的に学ぶ場にしようと企画</p> <p>日時：平成25年7月7日(日)</p> <p>場所：坂井輪コミュニティセンター</p> <p>講師：田中 栄司氏(富士カラーアウラ企画課長)、参加者：20名</p> <p>事業準備などの実施</p> <p>平成25年06月03日：会場決定→坂井輪コミュニティセンター。</p> <p>平成25年06月11日：講師依頼&第1回打合せ→開催日決定。</p> <p>平成25年06月15～20日：回覧作成、各自治会への回覧配布</p> <p>平成25年06月29日：講師との最終打合せ。</p>
事業名2	<p>2、真砂小学校文化祭協賛の作品展示：コミ協内の応募写真、絵手紙グループとの共同展示 於 真砂小学校3F 展示室(教育コーディネーターと同室展示)・観覧来場者数：250人</p> <p>・事業準備などの実施</p> <p>9/25：担当者打合せ</p> <p>9/30：各自治会への案内回覧作成と依頼(次頁へ)</p>

実施日付	会議・活動等項目
(前頁より)	<p>10/12：真砂小学校と展示場所打合せ、絵手紙グループと打合せ 10/21～23：写真応募の受け付け（写真担当者2名ずつ真砂会館で実施） 10/24：応募写真の展示方法を協議 10/25：写真展示・作品管理。終了後の会場整理。</p> <p>・事業による成果及び今後の課題 展示写真のレベルが上がって来ていた事と少ない部会員で活動が計画的で、活気があった。 日頃の絵手紙の会の活動と「展示して地域の人に見てもらい、地域文化の向上を図る」等の目的が合致していない。もっと他の文化サークルにも呼びかけ、共同開催の輪を広げ、地域の元気を呼び戻す場になる様にしたい。わずか1日の展示なので、当事者がその場に居て 参観者に解説や活動へのPRをする必要がある。顔見知りになる事から始める。尚、真砂会館の設備不備と非耐震性の危険があり、色々な文化活動をするには制限される面が多い。</p>
事業名3	<p>3、文化講演会「良寛に学ぶ」：全国良寛会会長を講師に迎え、長引く不況や、大震災からの復興立ち遅れ、日常化しているいやな事件等の中で、一人の人間としてどう生きていくべきかを「良寛の生き様」から学ぼうと企画した。於 坂井輪コミュニティセンター</p> <p>・講師：長谷川 義明氏（元新潟市長） ・参加者：85人 ・事業準備などの実施</p> <p>06月29日：講師への講演交渉開始、数日後快諾 07月10日：長谷川講師との打合せ後、開催日変更 10月30日：会場の点検と借用物の確認、参加者の集約開始。 11月20日：講師に参加者状況の中間報告や当日質問状等連絡 11月22日：会場の最終確認</p> <p>・事業による成果及び今後の課題 昨年同様、終了後の反応が直接的で、部会の次年度活動に示唆されるものがあつた。今回は講師を中心に「良寛の足取りを辿る」式ツアーの開催を企画して欲しいと具体的な要望が出された。</p> <p><課題> 2回の取り組みでは結論を出すのは早計だが、地域に在住の文化人の発掘と活動の呼びかけ。単発的な「講演会」でなく何回か続けて話を聞いたり、制作活動のサークルを作るなどへの発展化させ、既述の活動を数年続けた結果、常に参加している人が居りお互いが顔見知りになって話し合いが始まり、「参加」への喜び、張り合いが生まれる。地域内の住民間の融和になっていると思う。</p>

◎ スポーツ部会 (部会長 下川 信也)

実施日付	会議・活動等項目
5/12～ 7/31	<p>真砂・松海が丘野球連合「野球大会」 真砂小学校のグラウンド改修工事のため、通年行なっていた「リーグ戦」が出来ず短期間終了の「トーナメント」方式で「新潟日報杯」「新潟信用金庫杯」を敗者復活戦等を交え行なった。 (次頁へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：平成25年5月12日～7月末日までの土曜日、日曜日 ・会場：真砂小学校グラウンド ・戦績：6月2日 新潟日報杯決勝 優勝チーム 松海が丘第2、準優勝チーム 真砂2丁目 7月28日 信金杯 優勝チーム 真砂1丁目、準優勝チーム 真砂2丁目 ・参加人員：各7チーム(1チーム15名前後)総勢100名×2大会=200名前後の参加者 ・事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> i 成果：真砂小学校区在住の人的と親睦は交流は地域の活性化とコミュニティ形式に果たしている役割はきわめて大きいと言える。 ii 課題：大会運営事務局の協力体制と26年度もグラウンド芝張り工事等の為会場難となる。優秀選手表彰(コミ協会長よりのトロフィー授賞式)は26年度開会式に持ち越した。
10/19(日) 09:30～11:40	<p>グラウンドゴルフ大会 初の試みで大会案内回覧方式をNIC真砂の全戸配布に変えて実施してみた。結果7自治会 8チーム32名の参加を得て開催することが出来た。参加者の殆どが初めてと言う手探り状態でスタートしたが、直ぐに要領を覚え途中「ホールインワン！」完成もあり、後半はスコアを気にしながら楽しそうにゲームは進められた。 会場：西総合スポーツセンター多目的広場 1/2を使用9ホール4人制 参加人員：7自治会 8チーム32名+講師・役員 戦績：1位 松海が丘・真砂連合会 2位西小針台3丁目 3位 真砂1丁目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業による成果及び今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> i 表彰：元コミ協会長の若林彰一氏からトロフィー授与を行なった。 ii 成果：参加者の親睦・交流もありお互いの絆も深められた(次頁へ) iii 大会開催の周知・参加者応募方法の改善について(費用対効果) 今後スポーツ部会関係行事は「NIC真砂」の毎月初日発行の「行事予定表」に掲載を依頼する予定。
11/23(土) 12/01(日) 10:00～12:00	<p>太極拳初心者講習会 心身の健全育成とバランス感覚を養う目的で開催した講習会。 (次頁へ)</p>

実施日付	会議・活動等項目
(前頁より)	<p>決して派手な動きではなく飽く迄も基礎を主体とした講師の指導法、攻撃ではなく相手に力を受け流す防御の実技を目の当たりにし納得するものの、技術の習得は可なり難しかった。</p> <p>会場 : 明倫短大学校 6号館 5F 講堂</p> <p>講師 : 山田 弘氏 (市スポーツ推進委員・日本武術太極拳公認指導者)</p> <p>参加人員 : 12自治会 2日間延べ48名</p> <p>・事業による成果及び今後の課題</p> <p>i 心身の健全育成とバランス感覚を養う目的で開催した講習会で意義は十分に達成された。</p> <p>ii 技術習得には2日～3日では短すぎる！しかし長期開催は会場手当てと、講師の都合で実施は不可能。太極拳に対する「動機付け」程度で限度か？</p>

◎ 交通安全・防犯部会 (部会長 臼杵 健一)

事業内容	会議・活動等項目
<p>パトロール</p> <p>成果、今後の課題</p>	<p>事業の実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、平成25年6月28日「第1回交通安全・防犯部会々議」開催出席者7名 2、平成25年8月 3日「第2回交通安全・防犯部会々議」開催 同日「第1回防犯パトロール・海浜地域」実施 参加者8名 3、平成25年9月25日「第3回交通安全・防犯部会々議」開催 4、平成25年10月12日「第4回交通安全・防犯部会々議」開催、 同日「第2回防犯パトロール・公園地域」参加者6名、来賓 坂井 西区安心安全係 <p>事業による成果及び今後の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、目的：地域の防犯と安全・安心の町づくりに協力する事 2、防犯には町内単位の防犯・防火確認、海浜や公園での子供たちの安全確認・行動見守り。 3、公園環境：公園や小路での照明の明るさ点検、草取り等区役所では出来ない地域での子供達との共同行動。 4、地域の人達に顔を覚えてもらえること、子供達と一緒に挨拶が出来ること等。 5、今まで見ていなかった地域が見えてきます。 6、これからは、部員ばかりでなく地域の人達と一緒に回りたいです。 7、役所と一緒に地域を作って行きたいです。

◎ 広報部会 (部会長 小林 知昭)	
事業内容	会議・活動等項目
第15号発行	<p>真砂小学校区コミ協だより第15号発行 本年度は全世帯に(4100枚)配布しコミ協の活動内容を多くの方々に読んで頂ける事を期待して実施してみた。</p> <p>6月 コミ協だより 編集会議 9月 コミ協だより 編集会議 9月 コミ協だより 配布準備作業及び即日各自治会あて送付</p> <p>事業による成果及び今後の課題 全世帯の配布は初のももろみであり、4100枚を印刷し配布したが少し不足であったように思われる、しかし全世帯配布しても取らない世帯が少々あるように聞いているので今後の課題である</p>
第16号発行	<p>真砂小学校区コミ協だより第16号発行</p> <p>① 事業の実施場所 コミ協事務所 (広報部会員)</p> <p>② コミ協だより印刷部数 4,300枚</p> <p>③ 編集会議等</p> <p>26年1月 コミ協だより16号 編集会議 26年2月 コミ協だより16号 編集会議 26年2月 コミ協だより16号 配布準備作業及び即日宅配便で各自治会あて送付</p> <p>事業による成果及び今後の課題 コミ協だより16号を全世帯に配布することにより、コミ協各部会の活動を周知することにより効果拡大を図った。 次年度も17号・18号を発行する予定、コミ協の部会活動だけでなく各自治会の活動等も載せたいので各自治会の協力が必要である。</p>

◎ 生活環境部会 (部会長 根本 修一)

実施日付	会議・活動等項目
<p>11/19 (火) 19:00~20:30</p>	<p>事業の実施内容</p> <p>①講演会 講師：新潟大学名誉教授 関根 征士氏 「原発とどう向き合ったらよいのでしょうか！」</p> <p>福島第一原発の事故発生以来、原発について非常に関心が高まり今日の最大の社会問題です。真砂コミ協生活環境部会では原発事故は人間と生物全体の環境問題として正しい認識を持つ必要から専門家を招き講演会を計画し、真砂コミ協加盟自治会、団体等の方々に回覧等で案内し、当日60余名が参加しました。</p> <p>講演内容は原発の危険性、事故原因を津波による想定外では済されないこと。放射能汚染の危険性、内部被ばくの内容、核のごみ問題等をわかり易く説明してもらいました。</p> <p>また世界最大の集中立地である東電柏崎・刈羽で「フクシマ」が起きた場合の問題、福島のずさんな事故処理と柏崎・刈羽の再稼働についても説明された。原発の発電コストと再生可能エネルギー展望もわかり易く話されました。最後に参加者からの質問がありましたが、丁寧に答えて頂き質問者も納得していました。</p> <p>事業による成果及び今後の課題</p> <p>コミ協生活部会として、今環境問題で住民の関心の高い「フクシマ」原発事故の勉強の場として「講演会」を実施した。</p> <p>参加者は自治会役員等が多かったが、初歩的なことも含めて理解を深める場となったことは一つの成果だと思う。</p> <p>原発問題は国民の中でも多数が「廃止」という世論があるものの、意見が分かれる課題でもある。よって統計的な学習や探求を必要とする課題でもある。</p>
<p>H26. 3/15(土) 13:30~15:00</p>	<p>②海岸線、飛砂防止のための「ハマニンニク」の植栽事業</p> <p>真砂コミ協生活環境部会の事業で飛砂対策としての「ハマニンニク」の植栽は今年で3年目です。</p> <p>50名の参加者で468㎡の野老に7,500株を1時間10分程で植栽しました。(全体では1,578㎡)</p> <p>作業開始時には風雨がひどく先行き心配でしたが、すぐに雨も上がり予定通り作業を終了させる事が出来ました。</p> <p>事業による成果及び今後の課題</p> <p>24年度より、業者が整地し肥料を施し堆砂垣と飛砂止めの麻布を張った所に穴を開けて植栽する方法としたので安定した生育が期待できます。(次頁へ)</p>

実施日付	会 議 ・ 活 動 等 項 目
(前頁より)	しかし、飛砂防止の対応は未だ部分的で有り完成させるためには、今の方法を継続させると共に多様な対応についても研究する必要があると思います。また、民有地に対する対策も今後の重要な課題で、この部分の対策なくして飛砂を止める事は出来ないと思います。

◎ 防災部会 (部会長 中村 健三郎)

実施日付	会 議 ・ 活 動 等 項 目
10/17 (金) 19:00~20:30	<p>第1回防災部会 於 真砂会館 (新部会員14名)</p> <p>①部会設置の経緯と意義: 本日の参加者 (自己紹介も含めて) の防災に対する認識、各自治会の取り組み、部会への期待など</p> <p>②部会長の選出: 部会長 中村健三郎 (自由が丘自治会長)、副部会長 八子 聡 (晴海ヶ丘自治会長)、副部会長 大久保久治 (日和ヶ丘自治会防災部長) 各氏を選出。</p> <p>③年度内のスタートの活動をどうするか: 当面は各自治会の防災に関する情報交換・話し合いの場とする。 (次頁へ)</p>
11/14 (木)	<p>西区総務課安心安全係 (土田係長、菅田主査) へ防災部設立の報告</p> <p>防災は国、地方自治体とも大きな社会問題として取り組みを強めている。コミ協としては、防災上での情報交換、研修、住民への防災意識の啓発や活動交流などを推し進める部会を設置する。</p> <p>尚火災も災害と見做されるので、旧会則 (6) の「地域防火」部分を分離、統合した。</p> <p>提出書類として、</p> <p>①「コミ協防災部会を設置についての理解を深めるために」の設定迄の経過文書。</p> <p>②真砂コミ協の構成団体代表者名簿。</p> <p>③改定「真砂コミ協会則」 を添付した。</p>